

13. 第 11-13 回高木レクチャーについて

第 11 回高木レクチャーの報告と第 12 回、第 13 回高木レクチャーの予定をお知らせいたします。

高木貞治先生の名を冠した講演会「高木レクチャー」は、世界から卓越した数学者を日本に招聘し、専門分野を越えた数学者や若手研究者・大学院生を主な対象とし、創造のインスピレーションを引き起こすような気概に満ちた研究総説講演を行っていただき、日本発の新たな数学の創造に寄与することを目的としています。高木レクチャーをもとにした研究総説は、査読を経て *Japanese Journal of Mathematics (JJM)* に掲載されることになっています。

この趣旨に基づき「高木レクチャー」の創設が 2006 年 3 月 26 日（日）、中央大学で開かれた日本数学会評議員会で承認され、2006 年 11 月に第 1 回高木レクチャーが京都大学数理解析研究所で開催されて以来、これまでに 11 回の高木レクチャーが開催されています。

第 11 回高木レクチャー（2012 年 11 月 17 日（土）-18 日（日）、東京大学大学院数理科学研究科）において、

P. F. Baum (Pennsylvania State Univ.):

「Non-Commutative Geometry and the Local Langlands Conjecture (非可換幾何と局所ラングランズ予想)」,

A. Lubotzky (Einstein Inst. of Math.):

「Ramanujan Complexes and High Dimensional Expanders (ラマヌジャン複体と高次元エキスパンダーグラフ)」,

R. Seiringer (McGill Univ.):

「Hot Topics in Cold Gases

—A Mathematical Physics Perspective

(冷たい気体のホットなトピックス

—数理解物理的視点)」

の講演が行われ、142 名の方が参加されました。

当日には、各講演者の予稿を纏めた「高木ブックレット vol. 11」が配布され、その最終版の研究総説は査読後、JJM に掲載される予定です。

講演のビデオは日本数学会情報システム運用委員会と東大数理 Video Archives プロジェクトチームにより撮影編集が行われ、web 上で一般公開する予定です。

○第 12 回高木レクチャー（予定）

日時：2013 年 5 月 25 日（土）午後 - 26 日（日）

場所：東京大学大学院数理科学研究科

講演者：

• Laurent Lafforgue (IHÉS)

• Sorin Popa (UCLA)

• Peter Scholze (Univ. Bonn)

組織委員：小野薫，河東泰之，小林俊行，
斎藤毅，中島啓

主催：日本数学会，東大数理

協力：Japanese Journal of Mathematics

○第 13 回高木レクチャー（予定）

日時：2013 年 11 月 16 日（土）午後 - 17 日（日）

場所：京都大学数理解析研究所

講演者：

• David Kazhdan (Einstein Inst. of Math.)

• Hee Oh (Brown Univ.)

• Gang Tian (Princeton Univ., BICMR)

組織委員：小野薫，河東泰之，小林俊行，
斎藤毅，中島啓

主催：日本数学会

協力：Japanese Journal of Mathematics

秋の京都、とりわけ 11 月の週末は宿泊施設が混み合いますので、十分早めに宿泊を予約されますことをお勧めします。

高木レクチャーの HP

<http://www.ms.u-tokyo.ac.jp/~toshi/>

takagi_jp/

で最新情報を掲載いたします。

JJM は、2006 年に 3rd Series として新しい創造を引き起こすような「研究総説論文」を掲載するジャーナルとして生まれ変わりました。広く皆さまからのご投稿をお待ちしています。なお、数学会会員は JJM の個別のバックナンバーを会員割引価格 7500 円（+税 375 円）で日本数学会事務局より購入することも可能です。

(小林俊行 記)